

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

I. 財団の管理・運営

寄附金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金（使途不特定、但し一部は株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金 35 名分）及び個人 3 名からの寄附金（現地支給奨学金）を受け入れました。

会議の開催

第 22 回理事会 (平成 29 年 6 月 5 日)

平成 28 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。第 18 回評議員会の招集が承認されました。

第 18 回評議員会 (平成 29 年 6 月 23 日)

平成 28 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。監事のうち 1 名が平成 29 年 6 月開催の定時評議員会終結をもって任期満了となるため、次期監事の選任について審議を行い決議しました。

第 23 回理事会 (平成 30 年 3 月 2 日)

平成 30 年度事業計画、収支予算及び平成 30 年度奨学生 50 名が承認されました。第 19 回評議員会の招集が承認されました。

第 19 回評議員会 (平成 30 年 3 月 16 日)

平成 30 年度事業計画及び収支予算が承認されました。

内部統制の整備

(「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 90 条第 4 項第 5 号及び同法施行規則第 14 条に規定する体制の整備)

決定及び決議は特にありません。

II. 奨学金支給事業（継続事業 1）

留学生奨学金の支給

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金（月額 10 万円・期間 2 年間）を、平成 28 年度生 13 名（6 月より 1 名、11 月より 1 名辞退の為）及び平成 29 年度生 15 名、合計 28 名に平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで支給しました。

（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金（月額 6 万円・期間 1 年間）を、平成 29 年度生 34 名（11 月より 1 名辞退の為）に平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで支給しました。

現地奨学金を、ベトナム3名、ミャンマー3名、カンボジア3名、ラオス3名計12名に支給しました。

選考委員会の開催

第25回選考委員会（平成30年2月26日）

奨学金対象校から推薦のあった平成30年度応募者312名及び現地（カンボジア・ミャンマー・マレーシア・インドネシア）選考会において選考された10名について、審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金15名、(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金35名の合計50名を平成30年度奨学生候補者として選考しました。

現地奨学生選考会の開催

奨学候補生現地（カンボジア）選考会（平成29年8月3日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者2名に対し、当財団北原選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、1名が平成30年度(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（ベトナム）選考会（平成29年8月5日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者8名に対し、当財団北原選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2名が平成30年度(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（ミャンマー）選考会（平成29年8月24日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者11名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、3名が平成30年度(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（マレーシア）選考会（平成29年9月7日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者9名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2名が平成30年度(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（インドネシア）選考会（平成29年9月9日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者13名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2名が平成30年度(株)共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

III. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業（継続事業2）

財団紹介のパンフレット『一般財団法人共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol.24』、情報誌『アジア文流 Vol.41、42』、留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳（第6版）』、留学生のための就職情報誌『共立・桜 Vol.18』を

出版し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

IV. 国際交流活動への支援（継続事業3）

イベントの開催

第20回「日本体験コンテスト in 大韓民国」

当財団（東京本部・ソウル事務所）主催、文部科学省・在大韓民国日本国大使館公報文化院・東亜日報・全日本空輸株式会社ソウル支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成29年7月15日、大韓民国ソウル特別市ロッテホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院生・大学生を対象として、日本で「学術・研究体験」部門と「職業体験」部門の二部門に分けての企画書の募集を行いました。

応募者多数の中から、一次選考通過者10名の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい、審査委員による採点審査の結果入賞者9名が選ばれ、「夢・体験賞」として賞金300万ウォンが授与されました。

入賞者9名は、平成30年3月までにそれぞれの日本体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

第5回「日本語体験コンテスト in プノンペン」

当財団主催、文部科学省・在カンボジア日本国大使館・全日本空輸株式会社プノンペン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成29年8月3日、カンボジア・プノンペン市 SUNWAY HOTEL を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数99名のうち67名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題30問が出題され、18名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者5名が選ばれました。

入賞者5名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（平成30年1月22日～29日）に参加し、日本の大学訪問、箱根小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第10回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」

当財団主催、文部科学省・在ホーチミン日本国総領事館・全日本空輸株式会社ホーチミン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成29年8月5日、ベトナム・ホーチミン市 165 NAM KY KHOI NGHIA GUEST HOUSE を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数65名のうち46名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、16 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（平成 30 年 1 月 22 日～29 日）に参加し、日本の大学訪問、箱根小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 7 回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」

当財団主催、文部科学省・在ミャンマー日本国大使館・全日本空輸株式会社ヤンゴン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、平成 29 年 8 月 24 日ミャンマー・ヤンゴン市 NOVOTEL YANGON MAX HOTEL を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生を対象に実施し、応募総数 72 名のうち 64 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、17 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（平成 30 年 1 月 22 日～29 日）に参加し、日本の大学訪問、箱根小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 5 回「日本語体験コンテスト in バンコク」

当財団主催、文部科学省・在タイ王国日本国大使館・全日本空輸株式会社バンコク支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 29 年 8 月 26 日、タイ王国バンコク市パトゥムワンプリンセスホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 112 名のうち 77 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、20 名（うち 1 名欠席）が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（平成 30 年 1 月 22 日～29 日）に参加し、日本の大学訪問、箱根小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 3 回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」

当財団主催、在マレーシア日本国大使館・全日本空輸株式会社クアラルンプール支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 29 年 9 月 7 日、マレーシア・クアラルンプール市 The Ritz-Carlton, Kuala Lumpur を会

場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 26 名のうち 20 名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、15 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（平成 30 年 1 月 22 日～29 日）に参加し、日本の大学訪問、箱根小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 4 回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」

当財団主催、文部科学省・在インドネシア日本国大使館・全日本空輸株式会社ジャカルタ支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 29 年 9 月 9 日、インドネシア・ジャカルタ市 AYANA Midplaza JAKARTA を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 60 名のうち 36 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、16 名（うち 1 名辞退）が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行（平成 30 年 1 月 22 日～29 日）に参加し、日本の大学訪問、箱根小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 15 回「日本語体験コンテスト in 上海」

当財団（東京本部・上海委託事務所）主催、文部科学省・在上海日本国総領事館・全日本空輸株式会社上海支店・中等日本語課程設置校工作研究会後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 29 年 9 月 16 日、中華人民共和国上海市甘泉外国語中学を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を学んでいる中国の高校生・大学生を対象に実施し、応募者多数のうち 107 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、25 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 10 名が選ばれました。

入賞者 9 名（1 名参加辞退）は「共立賞」として賞品旅行（平成 30 年 1 月 25 日～30 日）に参加し、北海道大学見学、札幌ホームステイ等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第18回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト

当財団主催、文部科学省・外務省・産経新聞社後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成29年10月21日、東京ガーデンパレスを会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学・短大・専門学校生を対象として、対象国を「インドネシア・ミャンマー・カンボジアのいずれか1カ国」とし、テーマを「①日本語教育体験・日本語教育の現状調査、②現地で必要な産業の調査、③現地に進出している日本企業等の調査、④医療・サービス業の現状調査」として企画を募集しました。

書類選考による一次審査を通過した12名の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい、審査委員による採点審査の結果入賞者5名が選ばれ、「夢・アジア体験賞」として賞金30万円が授与されました。

入賞者5名は、平成30年3月までに、それぞれのアジア体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

助成金の支給

日本人学生の「国際ボランティア支援基金」

日本人学生（高校生・専門学校生・短期大学生・大学生）を対象に、アジアに関する「国際ボランティア」の企画を募集し採用された企画に助成金の支給（一口15万円・今年度採用者2名）を行いました。

採用者は、平成30年3月までに企画を実施し、その報告書を提出しました。

研修会の開催

奨学生及び一般学生（留学生・日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善交流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化・歴史・自然についても理解を深めました。

<各研修会報告>

第103回 奨学生研修会

開催地：石川県 金沢市

開催期間：平成29年6月9日～11日 2泊3日

参加者：一般財団法人共立国際交流奨学財団 平成28・29年度奨学生29名

内容：金沢の文化や歴史を巡るウォークラリーなど

第104回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、一般財団法人北海道国際交流センター

開催地：北海道 函館地域

開催期間：平成29年8月17日～22日 5泊6日

参加者：留学生3名

内容：ホームステイ、ファーム体験など

第105回 研修会（応募者が最小催行人数に達しなかったため、不催行）

第106回 研修会

開催地：沖縄県 東村

開催期間：平成29年8月27日～9月1日 5泊6日

参加者：日本人学生・留学生21名

内容：ホームステイ、ファーム体験、マリン体験など

第107回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町観光協会

開催地：北海道 標津町

開催期間：平成29年9月7日～12日 5泊6日

参加者：日本人学生・留学生19名

内容：ホームステイ、ジャングルカヌー、フィッシング体験、
サーモン科学館見学、知床遺産視察など

第108回 研修会

開催地：沖縄県 伊江島

開催期間：平成30年2月13日～18日 5泊6日

参加者：日本人学生・留学生23名

内容：ホームステイ、農業体験、沖縄観光、マリン活動体験など

第109回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町観光協会

開催地：北海道 標津町

開催期間：平成30年2月15日～20日 5泊6日

参加者：留学生18名

内容：ホームステイ、郷土料理作り体験、雪遊び体験、
サーモン科学館見学など

V. 日本語教育施設の設置及び運営

カンボジアのシェムリアップに合弁会社 HIKARI-KYORITSU INTERNATIONAL SCHOOL CO., LTD を平成30年3月20日に設立しました。

VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、つつじヶ丘男子学生会館・相模大野学生会館の国際交流会館2棟の管理及び運営を、また全国7地域（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・京都・福岡）で「学習奨励寮」の運営を行いました。

日本人学生対象の「留学生生活アシスタント制度」平成29年度生1名に1年間無償で寮を提供しました。